

社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

平成31年1月10日

計画の名称	秋田市における災害に備えた下水道施設の構築(防災・安全)(重点計画)										重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成30年度～令和2年度(3年間)					交付対象	秋田市											
計画の目標	市街地等における浸水被害の軽減・防止を図るため、雨水幹線等の整備をすすめるとともに、老朽化によるリスク防止のため、長寿命化計画に基づく雨水排水ポンプ場の改築更新を行い、市民の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を形成する。																	
計画の成果目標(定量的指標)	①都市浸水対策達成率を49.9%(H30当初)から50.2%(R2末)に増加させる。 ②雨水ポンプ場の長寿命化計画達成率を0.0%(H30当初)から100.0%(R2末)に増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考					
											当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)		最終目標値 (R2末)				
	①都市浸水対策達成率 都市浸水対策完了済面積(ha)÷都市浸水対策を実施すべき面積(ha)										49.9%	50.1%	50.2%					
	②雨水ポンプ場における長寿命化計画達成率 長寿命化計画により改築を実施した雨水ポンプ場大分類施設数(施設)÷長寿命化計画により改築すべき雨水ポンプ場大分類施設数(施設)										0.0%	100.0%	100.0%	大分類施設数(山王ポンプ場1、旭橋ポンプ場3)				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,369百万円	A	2,369百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)		0.0%					
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A07-001	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	雨水	新設	(浸水対策) 新城川左岸3-1号幹線築造	雨水管φ800~3,000 L=1,870m	秋田市	H30	H31	R2		1,654		-	
A07-002	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	雨水	新設	(浸水対策) 新屋島木町ほか 面整備	雨水管φ600~U2,500×1,750	秋田市					340		-	
A07-003	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	雨水	改築	(浸水対策) 山王ポンプ場	電気設備	秋田市					248		策定済み	
A07-004	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	雨水	改築	(浸水対策) 旭橋ポンプ場	機械設備	秋田市					112		策定済み	
A07-005	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	秋田市下水道総合地震対策計画策定	計画策定	秋田市					15		未策定	
合計												2,369						
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考		
											H30	H31	R2		0			
											合計				0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	
C 効果促進事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考		
											H30	H31	R2		0			
											合計				0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考		
											H30	H31	R2		0			
											合計				0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R2		
配分額 (a)	671	395	155		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	671	395	155		
前年度からの繰越額 (d)	0	664	351		
支払済額 (e)	7	708	364		
翌年度繰越額 (f)	664	351	142		
うち未契約繰越額 (g)	158	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	23.6%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	繰越工事、H30 補正を含むため				